







# Thailand = · ÞA KOH TAO





## 空前絶後のジンベエラッシュ!

GW周辺のタオ島は、シーズンの中でもジンベエザメがもっとも出現しやすい時期。コアなリピーターは、あえてこの時期を選んでやってくるというほど周知されている事実なんだとか。これまで僕は何度もタオ島を訪れていたものの、実はこの時期に来るのは初めて。それでも毎回ジンベエは撮影できているし、あえてこの時期ではなくても……。と正直思ってはいた。タオ島に到着しビッグブルー・チャバでカメラをセッティングしていると、海からガイドの大村さんが戻って来た。「いや~きゅうさん! 今シーズンのジンベエは本当にヤバい! 今絶好調過ぎてチュンポンピナクル1ダイブで 3 個体とか出てますよ!」と興奮気味に話してくれた。本当にそんなことがあってもいいものなのか。いや、いいのだろう。この日から怒涛のジンベエラッシュの毎日がはじまった。









### 圧巻の魚群

1日3ダイブ全てでジンベエが出現した日もあった今回の取材。取材中に一度 の遭遇はあったとしても、ここまでの経験はなかなかあるものではない。海の中 ではジンベエ同士が交差するシーンなども見られたという。つくづくタオ島はす ごい島なんだな。と、ジンベエばかりに話が傾いてしまいそうだが、今回のタオ 島の海は魚の量も過去最大と言っていいほどの魚群だった。「サウスウェストピ ナクル」の根の周りにはシェベロンバラクーダが竜巻のように群れ、セイルロッ クのギンガメアジは文字通り宇宙空間に輝く彗星のように泳ぎ回っていた。何か の被写体を撮影しようとしても、何か他の群れが次から次へとフレームインして 来る。まさにファインダーの中はカオス状態。手前から奥行きまで魚まみれ。こ んな幸せの構図はタオでしか味わらことができないのかもしれない。









# Thailand 3.37 KOH TAO



## 可憐な魚たち

タオ島の特徴はそのダイナミックなシーンばかりではない。イバラカンザシやハープコーラルなどのソフトコーラルが彩る海底には、数々のユニークなマクロ生物が存在している。













## 光を感じるタオ島

セイルロックへのワンデイトリップに出かける時は朝が早い。まだ少し暗いうちにバンザイ号に乗船し用意された朝食を食べはじめる頃には、太陽が顔を出しタオ島は美しい色を取り戻していく。 雲の割れ目から差し込む朝の光。海の青と雲の白を容赦なく照らす日中の光。そして一日の終わり を悲しむかのように暮れる夕陽。刻々と表情を変える島に。













### ガイドと仲間と賑やかに過ごすタオ

連日無数のジンベエに遭遇し、でっかい魚群に包まれる贅沢なダイビングを提供してくれたタオ島の海とビッグブルーのガイド陣。タイの名ガイドである大村さんを筆頭に、生き物の造詣に深いスタッフが、万全の体勢で僕たちを迎えてくれる。彼らは島内の美味しい食事事情にも精通していて、アフターダイブも食事の席を設けてくれるので、一緒に潜った方々とまた海の話で盛り上がれるのが嬉しい。ビッグブルーチャバは人と人とを繋げてくれる出会いの場でもある。



## Thailand 2.97 KOH TAO















































